

平成22年度財務状況

学校法人は、昭和46年4月1日付文部省令第18号「学校法人会計基準」に則して会計処理を行い、決算時には会計処理結果を表す、財務計算に関する書類「計算書類」を作成しなければなりません。この「計算書類」は一般企業の決算書に相当し、資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表の3表で構成されます。

学校法人行吉学園の平成22年度計算書類（決算書）は、監事の監査を経て、平成23年5月27日の理事会で承認され、つづく評議員会へ報告され了承されました。また、独立監査人である監査法人からこの計算書類は適正であるとの監査報告をうけています。

【平成22年度決算概要について】

平成22年度の事業計画に基づく財務面での基本方針としては、健全な財政基盤を確立する事、新たな出発の節目として「学園創立70周年記念事業」の完遂、安心・安全を確保する為の須磨キャンパスA館耐震工事、更には社会福祉法人「神女きずな会」神女中山手保育園の創設を支援するなどがあり、着実にこれらの事業計画を実行して参りました。

消費収支の収入面では、学生募集が好調を維持し学納金収入で前年度比136百万円、23年度の受験料である手数料収入も同じく13百万円増加し、寄付金の減少はあるものの耐震工事に伴う補助金の増加などで、帰属収入全体では、前年度比188百万円増加となりました。

消費収支の支出面では、退職者の補充抑制で人件費は減少したものの、耐震工事や保育園設立で、教育研究経費が98百万円、管理経費が232百万円それぞれ増加した為、総額で対前年度比176百万円の増加となりました。

単年度の経営指標である帰属収支差額は、経費の増加を収入増で賄い、79百万円の収支差額黒字を確保することができました。

その他、施設・設備関係の充実では、須磨キャンパスM館及び食堂、ポートアイランドキャンパスA・B館の空調熱源更新、須磨キャンパスC館実験台等更新やポーアイキャンパス給食管理実習室の改修、各教室の情報機器更新等、学生サービスや教育環境の改善を、年次計画に基づいて行なっております。

【掲載する計算書類等】

- 資金収支計算書（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）
- 消費収支計算書（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）
- 貸借対照表（平成23年3月31日）
- 財産目録
- 監査報告書